

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【公表番号】特表2010-512370(P2010-512370A)

【公表日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-016

【出願番号】特願2009-540747(P2009-540747)

【国際特許分類】

C 07 F 9/38 (2006.01)

【F I】

C 07 F	9/38	B
C 07 F	9/38	C
C 07 F	9/38	A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年10月23日(2013.10.23)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

8 またはそれ以上のpHを有する水性媒体中で0 またはそれ以上の温度にて式：

Y - X - N (W) (ZPO₃M₂)

を有するホスホン酸化合物と、

U

部分の前駆体とを反応させることによる、式：

U - [X - N (W) (ZPO₃M₂)] s

を有するアルキルアミノアルキレンホスホン酸の製造方法。

構造要素は以下：

Yは、置換基の共役酸が4.0と等しいかまたは4.0より小さいpKaを有する置換基から選択され；

Xは、場合によりC₁-C₁₂の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族基によって置換されるC₂-C₅₀の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族の炭化水素鎖（該鎖および/または該基は、場合によりOH、COOH、F、OR'、R²O[A-O]_x-（ここで、R²は、C₁-C₅₀の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族の炭化水素鎖である）およびSR'（ここで、R'は、場合によりC₁-C₁₂の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族基によって置換されるC₁-C₅₀の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族の炭化水素鎖である）部分によって置換されてもよく、該鎖および/または該基は、場合によりCOOH、OH、F、OR'およびSR'によって置換されてもよい）；および[A-O]_x-A（ここで、Aは、C₂-C₉の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族の炭化水素鎖であり、xは、1~200の整数である）から選択され；

Zは、C₁-C₆のアルキレン鎖であり；

Mは、HおよびC₁-C₂₀の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族の炭化水素鎖から選択され；

Wは、H、ZPO₃M₂および[V-N(K)]_nKから選択され、ここで、Vは、場合によりC₁-C₁₂の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族基によって置換されるC₂-C₅₀の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族の炭化水素鎖（該鎖および/または該基は、場合によりOH、COOH、F、OR'、R²O[A-O]_x-（ここで、R²は、C₁-C₅₀の直鎖、

分枝鎖、環状または芳香族の炭化水素鎖である) および S R ' 部分によって置換されてもよい) ; および [A - O] x - A (ここで、Aは、C₂ - C₉の直鎖、分枝鎖、環状または芳香族の炭化水素鎖であり、xは、1~200の整数である) から選択され;

Kは、ZPO₃M₂またはHであり、nは、0~200の整数であり; そしてUは、NH₂、NHR'、N(R')₂、NH、N、OH、OR'、S、SH、およびS-Sから選択される部分であり、ここでR'は上に定義されるとおりであり; UがNH₂、NHR'、N(R')₂、HS、OR'、またはOHを表す場合にはsは1であり; UがNH、SまたはS-Sを表す場合にはsは2であり; そしてUがNを表す場合にはsは3である;

の意味を有する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

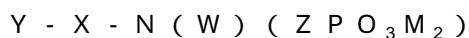
【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

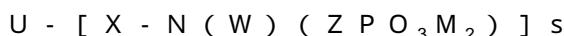
アルキレンホスホン酸の有益な製造方法をここに開示した。より詳細には、この発明性のある改善は、8またはそれ以上のpHを有する水性媒体中で0またはそれ以上の温度にて式:



を有するホスホン酸化合物と、

U

部分の前駆体とを反応させることによる、式:



を有するホスホン酸の製造を目指しており、構造要素は以下:

Yは、置換基の共役酸が4.0と等しいかまたは4.0より小さいpKaを有する置換基から選択され;

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

ホスホナート出発化合物中のYは、置換基の共役酸が4.0と等しいかまたは4.0より小さい、好ましくは1.0と等しいかまたは1.0より小さいpKaを有する置換基を示す。